

文教大学

【参考資料1】

■出席者名簿

○来賓

臼井将人（日本大使館広報文化センター参事官）
高橋耕一郎（国際交流基金北京日本文化センター副所長）
曹 大峰（日本学研究センター副所長）

○招待者

黄慶法（華僑大学日本語学部主任）
陳 娅（上海甘泉外国語中学校日本語科主任）
陳肇毅（福州外国語学校日本語科主任）

○メディア

王衆一（「人民中国」編集長）
北京放送局（当日の取材者未定）

○両大学関係者

北京大学関係	文教大学関係
吳志攀（北京大学副学長）	大橋ゆか子（文教大学学長）
程朝翔（北京大学外国語学院 院長）	磯山甚一（文教大学文学部長）
趙華敏（北京大学外国語学院 副院長）	小泉（江種）満子（文教大学大学院言語文化研究科長）
金勲（日本語学部 学部長）	白井啓介（文教大学文学部）
李奇楠（日本語学部 副学部長）	蔣 垂東（文教大学文学部）
于栄勝（日本語学部）	加納陸人（文教大学文学部日本語教育研究室主任）
李強（日本語学部）	小太刀澄江（文教大学越谷校舎教育支援課長）
丁莉（日本語学部）	
翁家慧（日本語学部）	
古市雅子（日本語学部）	
劉金才（日本語学部）	
滕軍（日本語学部）	
劉琳琳（日本語学部）	
王京（日本語学部）	
彭広陸（日本語学部）	
郭勝華（日本語学部）	
馬小兵（日本語学部）	

文教大学

【参考資料 2】

■文教大学の「北京大学日本語教育実習」について

文教大学文学部日本語教育研究室と北京大学外国語学院日本語文系が共同し、1992年から一度も中止することなく毎年行われています。文教大学からは文学部や大学院言語文化研究科で日本語教師を目指す学生がこれまで298名が参加しています。また北京大学からも日本語文系の学生を中心にこれまで約300名が参加しています。

文教大学からの実習参加者298名のうち、これまで57名が中国国内の大学や外国語学校に日本語教員として赴任しています。

本実習は、国際交流基金の業務連携事業「海外日本語インターンプログラム」に2009年度より2年続けて採択されています。

【2010年度北京大学日本語教育研修 概要】

派遣先：中国・北京大学外国語学院日本語文化学部

派遣期間：2011年2月24日～3月13日 17泊18日

派遣人数：19名

■今回の式典実施に至った経緯

3月11日に発生した東日本大震災により、実施の中止や延期も含めて、両大学で検討いたしました。その結果、予定されていた学術シンポジウムを延期した形で、記念式典のみを実施することになりました。これにより、当初文教大学から出席予定だった教職員を半分以下に抑え、この大震災後の学事日程の検討など、様々な意思決定に極力影響を及ぼさない形での開催となります。この時期に記念式典の実施を決定した理由として、「大震災後、北京大学関係者は、日本の被災状況を大変心配してくれています。そのため、式典だけでも実施し、日本と文教大学の状況を説明し、日本は頑張っているというメッセージを伝えることが重要と考えています」（学長 大橋ゆか子談）としています。